

# 学報 神戸大学

No.20

## ●官報参照事項

- 文部省令第一七号 文部省所管に属する船舶に関する権利の登記嘱託職員に定める省令 (七月二十三日)
- 文部省令第一八号 大学入学資格検定規程の一部を改正する省令 (八月十八日)
- 文部省令第一九号 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令 (八月二十五日)
- 建設省令第二六号 建築基準法施行規則の一部改正
- 建設省令第二七号 建築動態統計調査規則の一部改正 (以上八月十日)
- 人事院規則九一五 (給与簿)の一部改正 (八月六日)
- 人事院規則一一〇 (職員の意に反する降任及び免職)の一部改正
- 人事院規則八一七 (非常勤職員の任用)の一部改正 (以上八月十三日)
- 人事院規則一〇一二 (勤務評定制)

- 人事院規則 の一部改正 (八月二十一日)
- 人事院規則一一四 (現行の法律、命令及び規則の廃止)の一部改正
- 人事院規則一一三 (職員の休職制) (定)
- 人事院規則一六〇 (職員の災害補償)の一部改正 (以上九月十日)
- 文部省訓令 教職員の適格審査会に関する規程の一部を改正する訓令 (九月四日)
- 文部省告示 第四三号 昭和二十六年度専門学校卒業程度検定実施 (八月十五日)

## ●任 免 辞 令

- 願に依り本官を免する (七月十五日文部省)
  - 教官 浅田 宏
  - 教官 塩尻 公明
- 神戸大学教育学部附属住吉中学校長代理、神戸大学教育学部附属住吉小学校長代理を命ずる (七月十六日文部省)
  - 備員 (炊夫) 酒井 勉
- 国家公務員法第八十二条第二号及び三号に依り懲戒処分として免職する (八月十五日文部省)

嘉納 孔

文部教官に任命する

神戸大学助教授に補する 九級三号俸を給する

法学部勤務を命ずる (八月二十日文部省)

事務官 高橋 実

兼ねて神戸大学御影分校事務長を命ずる

(二月三十一日)

事務官 松原安治郎

事務局庶務課長補佐を命ずる (五月十六日)

事務官 中井 輝雄

願に依り本官を免する

各通 雇 高橋 進

同 近藤 裕子

同 深田正次郎

願に依り雇を解く

備員 福島 静子

願に依り備員を解く

(以上七月三十一日)

事務官 島田 操

経営学部補導厚生掛長心得を命ずる

事務官 岡田 六郎

経済学部庶務掛長心得を命ずる

雇 前田 好一

第二課程補導厚生掛長心得を命ずる

雇 吉坂 武男

法学部庶務掛長心得を命ずる

雇 大家 辰夫

経営学部庶務掛長心得を命ずる

(教育学部)事務官 藤田日出男

御影分校勤務を命ずる

各通 (庶務課)雇 吉田 利一

学生部補導課勤務を命ずる

(同)同 木下 広

法学部勤務を命ずる

(庶務課)雇 中西 輝子

経済学部勤務を命ずる

各通 (庶務課)雇 元木 昭二

経営学部勤務を命ずる

(同)同 森 順一

教育学部勤務を命ずる

(同)同 戸田 尙

教育学部勤務を命ずる

(同)同 細野 三良

教育学部勤務を命ずる

(同)同 島田 和夫

教育学部勤務を命ずる

(同)同 青木美重子

教育学部勤務を命ずる

(同)同 酒井 ハナ

教育学部勤務を命ずる

(同)同 横山 お津

教育学部勤務を命ずる

(同)同 藤尾 五郎

教育学部勤務を命ずる

(同)同 松本 セイ

教育学部勤務を命ずる

(同)同 福田源三郎

教育学部勤務を命ずる

(同)同 横山 お津

教育学部勤務を命ずる

(同)同 酒井 ハナ

教育学部勤務を命ずる

(同)同 藤尾 五郎

教育学部勤務を命ずる

(同)同 松本 セイ

教育学部勤務を命ずる

(同)同 福田源三郎

教育学部勤務を命ずる

(同)同 横山 お津

教育学部勤務を命ずる

(同)同 酒井 ハナ

教育学部勤務を命ずる

(同)同 藤尾 五郎

教育学部勤務を命ずる

(同)同 松本 セイ

教育学部勤務を命ずる

(同)同 福田源三郎

教育学部勤務を命ずる

(同)同 横山 お津

教育学部勤務を命ずる

(同)同 酒井 ハナ

教育学部勤務を命ずる

(同)同 藤尾 五郎

教育学部勤務を命ずる

(同)同 松本 セイ

各通 (教育学部)備員 中村 徳蔵  
 (同)同 桜井 祝  
 御影分校勤務を命ずる  
 (以上八月一日) 事務官 多田 政行  
 願に依り本官を免する (八月十五日) 雇 山西 建三  
 事務局会計課給与掛長心得を命ずる  
 (庶務課)雇 柴田 太朗  
 (会計課)同 西出 国夫  
 (教育学部)同 長谷川豊作  
 (第二課程)同 前田 好一  
 (法学部)同 吉坂 武男  
 文部事務官に任命する  
 各通 (庶務課)雇 芝 善夫  
 (同)同 荒井 隆  
 事務局会計課勤務を命ずる  
 (姫路分校)雇 水山 節子  
 事務局会計課勤務を命ずる  
 (附属図書館)雇 木島 茂夫  
 附属図書館御影分館勤務を命ずる  
 (住吉分館)雇 桃山 末吉  
 (同)同 松谷 幸枝  
 (同)同 橋本 茂  
 附属図書館御影分館勤務を命ずる

(御影分校)雇 福島 郁三  
 附属図書館御影分館勤務を命ずる  
 (庶務課)雇 三浦寿美子  
 文理学部勤務を命ずる  
 (明石分校)雇 増田 礼子  
 教育学部勤務を命ずる  
 (姫路分校)雇 陶山 晴子  
 法学部勤務を命ずる  
 (庶務課)雇 黒崎 英男  
 (同)同 堤 梗  
 (同)同 松野 咸五  
 (同)同 備員 北川 文治  
 経済学部勤務を命ずる  
 (庶務課)雇 金谷 堅  
 (同)同 明里 久子  
 経営学部勤務を命ずる  
 (庶務課)雇(実験実習指導員) 松岡 純雄  
 工学部勤務を命ずる  
 各通 (姫路分校)雇 西本 明純  
 (同)同 谷口 博良  
 (同)同 竹山 和彦  
 工学部勤務を命ずる  
 (庶務課)雇 森田 清春  
 姫路分校勤務を命ずる

各通 (庶務課) 備員 樋上 祥子  
 (同) 同 江藤 正子  
 学生部厚生課勤務を命ずる (庶務課) 備員 新見 良子  
 附属図書館勤務を命ずる (庶務課) 備員 小林 正文  
 工学部勤務を命ずる (庶務課) 備員 木下 弘子  
 教育学部勤務を命ずる (以上八月十六日)  
 各通 同 柴田 照子  
 同 高橋 敏子  
 同 明里 久子  
 願に依り雇を解く 備員 白川みさる  
 願に依り備員を解く (以上八月三十一日)  
 各通 岸 檜夫  
 和久田賢夫  
 文部教官に任命する 神戸大学助手を命ずる  
 六級四号俸を給する 教育学部(御影分校)勤務を命ずる  
 (庶務課) 雇 矢野 納  
 (会計課) 同 黒田 辰雄  
 (御影分館) 同 木島 茂夫  
 (姫路分校) 同 小林 敏  
 (教育学部) 同 和田 利男  
 各通 文部事務官に任命する

人事院規則十五の六に依る賜暇休養を解く 教官 野尻 薫  
 事務局 酒井 茂雄  
 人事院規則十五の六に依る賜暇休養を解く 田中 雄三  
 雇を命ずる 五級二号俸を給する  
 附属図書館勤務を命ずる (経済学部) 雇 森 順一  
 (同) 同 元木 昭二  
 (同) 同 福田 睦昭  
 御影分校勤務を命ずる (以上九月一日)  
 (庶務課) 事務官 藤瀬 紀  
 御影分校勤務を命ずる (九月十六日)  
 各通 教官 花戸 竜藏  
 同 新庄 博  
 神戸大学評議員を免する 各通 教官 宮田喜代藏  
 同 北野熊喜男  
 神戸大学評議員を命ずる (以上八月八日)  
 教官 土橋 正二  
 神戸大学補導委員を解く 教官 中村 隆  
 神戸大学補導委員を委嘱する (以上九月一日)

● 昭和二十七年進學適性検査兵庫縣監理審査委員左記の通り委嘱された

八月二十五日

委員長 神戸大学 学 長 田中保太郎  
 副委員長 同 学生部 長 八木 助市  
 委員 同 文理学部 長 今井林太郎  
 同 理 科 長 楠 正貫  
 同 教育学部 長 塩尻 公明  
 同 法学部 長 北村 五良  
 同 経済学部 長 坂本彌三郎  
 同 経営学部 長 福田敬太郎  
 同 工学部 長 城野和三郎  
 同 姫路分校 主事 内藤 好文  
 同 御影分校 主事 多田 英次  
 同 教育学部 主事 三宅 義一  
 同 明石分校 主事 村上 俊雄  
 同 学生部補導課 長 小島昌太郎  
 同 神戸市商科大学 学 長 金田 近二  
 同 神戸市外国語大学 学 長 大石兵太郎  
 同 関西学院大学 学 長 将積 茂二  
 同 兵庫県教育委員会 委員 長 堀 隆三  
 同 教育局 長 恩賀 一男  
 同 指導部長 前川 誠一  
 同 指導課長 宮地 雄吉  
 同 神戸市教育委員会 委員 長 宮地 雄吉

委員 神戸市教育委員会 教育長 木戸 只一  
 同 指導課長 松本 武八  
 同 兵庫県立神戸高等学校 校長 高山 忠雄  
 同 星陵高等学校 校長 中田 光雄  
 同 兵庫工業高等学校 校長 春日 重樹  
 同 芦屋高等学校 校長 飯野竹二郎  
 同 明石高等学校 校長 加藤 直三  
 同 神戸市立湊川高等学校 校長 田中 文三  
 同 私立灘高等学校 校長 清水 実

● 通 報

渡欧中の処八月三十日帰国された

教官 白杉 三郎  
 教官 荻野目博道

アメリカ文学及びアメリカ宗教思想史研究の為  
 九月十九日横浜出帆(一ヶ年の予定)

● 文理學部並に御影分校移轉

神戸大学殆足以来今日まで住吉学舎に置かれていた文理學部並に御影分校(教養課程)が去る八月十六、七両日に左記新校舎に移転した

神戸市東灘区御影町字師範  
 神戸大学 文理學部

神戸大学 御影分校(教養課程)

電話 御影 八七四七番

尙文学部の授業は当分左の通り

一、文科 六甲台学舎(従来通り)

一、理科 統計数学科及び生物学科は住吉学舎、物理学

科は松野学舎、化学科は西代学舎(何れも従

来通り)

◎神戸大学文学部文科編入試験要項

一、募集人員 哲学、芸術学、社会学、史学、英米文学  
各専攻学若干名

一、受検資格

1. 新制大学に一年半以上在学者

2. 第一外国語六単位以上を履習合格者

(外国語は毎週二時間約十五週の授業を以て一単位とすること)

3. 第一外国語を除いて人文、社会、自然の三系列から二科目以上合計十科目三十二単位以上を履習合格者

4. 体育実技二単位

一、提出書類

1. 入学願書

2. 卒(修)業証明書(在学中の者は在学証明書及び所属長の受検許可書)

3. 成績証明書並びに履修単位証明書  
4. 写真(裏面に氏名生年月日記入)

一、検定料 四百円也

一、試験期日 昭和二十六年九月二十二日(土)

午前九時より

一、場所 六甲学舎

一、願書受付 六甲学舎文科事務室

一、締切 九月二十日

一、試験科目

1. 外国語(英、独、仏のうち一箇国語)

2. 論文(哲学、史学、文学のうち何れか一科目)

3. 面接

一、合格者発表日 試験当日に発表日指示

◎旧制 第二學部 昭和二十六年後期(自十月至三月)

聽講生募集要項

一、募集人員 若干名

一、応募資格 旧制高等学校、専門学校卒業者若しくは学歴職歴等に鑑み本学の聽講に適すると認められる者

一、聽講科目 一学期に五科目以内

一、聽講料 一科目につき六百円、一科目増す毎に三百円加算する

一、出願期日 自九月二十五日 至十月五日

一、必要書類 検定料金四百円を添え左記書類提出すること

聽講願書、履歴書、証明書、身上自署録写真、葉書

一、試験期日 十月八日

一、科目 1. 筆記試験 論文、外国語(英語)

2. 面接

3. 身体検査

一、合格者発表 十月十一日(木)

聽講生継続希望者について

聽講生で昭和二十六年後期の聽講を希望するものは、

左記要項による

記

一、出願期日 自九月二十五日 至十月五日

一、面接 十月八日(月) 午前十時五十分より

一、身体検査 同日午後一時より

(詳細は本部補導課及び第二學部にお問合せ下さい)

◎昭和二十六年神戸大学後期授業、休暇及試験予定日程

○後期授業開始 十月十六日(火)

○後期授業休止 十二月二十四日(月)

○冬期休業 自十二月二十五日(火) 至一月七日(月)

○後期授業再開 一月八日(火)

○後期授業終了 二月十一日(月)

○後期試験施行 二月十二日(火)以降

◎主 要 日 誌

八月一日・神戸海技専門学院院長末学

四日・現職教育商業科認定講習会開催(至全月二十七日)

十六日・文理學部・御影分校新校舎に移転(十七日終了)

十七日・東京外語大学事務局長樺島氏末学

十九日・会計検査院次長池田氏末学

二十日・経済経営研究所主催会社経理専門委員会第二回委員会開催

・文部省大学学術局庶務課長平野氏末学

・文部省管理局教育施設部企画室長小林氏末学

・文部省教育施設部大阪工事事務所長西村氏末学

・文部省関野視学官末学

二十九日・御影新校舎落成式

三十日・事務職員第四回研修会開催(於六甲台、三日間)

九月三日・夏期休業終了

十一日・前期授業再開

昭和二十七年進學適性検査場、責任者及び願書受付部局

検査場	責任者	受付部局
第一検査場	神戸大学本部 教官 山下 勝治	神戸大学経営学部 灘区六甲台
第二検査場	県立神戸高校 五百旗頭真次郎	経済学部 "
第三検査場	県立兵庫高校 鳥田 家弘	工学部 長田区松野通
第四検査場	県立洲本高校 渡辺 禎三	"
第五検査場	神戸大学教育学部 佐藤 民部	教育学部 東灘区住吉町赤塚山
第六検査場	私立灘高校 木下 正雄	"
第七検査場	神戸大学御影分校 浜田政二郎	御影分校 東灘区御影町字師範
第八検査場	県立御影高校 奥田 義雄	"
第九検査場	神戸大学明石分校 木戸 乙男	明石分校 明石市山下町
第十検査場	県立加古川東高校 八木 弘	法学部 灘区六甲台
第十一検査場	神戸大学姫路分校 内藤 好文	姫路分校 姫路市新在家
第十二検査場	県立姫路西高校 黒岩 一郎	"
第十三検査場	県立竜野高校 仁科 尙文	"
第十四検査場	県立豊岡高校 堀 喜望	文理学部(文科) 東灘区御影町字師範
第十五検査場	県立柏原高校 橋本 純次	"(理科) "